

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立 塩浜 中学校

校長 山崎 浩文

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

～地域とともにある学校をめざして～

コミュニティスクールは、保護者、地域の皆さんと本校の「学校づくりビジョン」を共有し、一体となって学校運営に取り組み「地域とともにある学校」をめざします。

運営協議会では定期的に会議を開催し、学校運営や地域活動に関する協議を行っています。各運営委員には、会議開催日や学校公開日、文化祭や体育祭等の学校行事を参観し、生徒や教職員の様子を把握していただいています。

また、学校評価アンケートの結果から本校の強みと弱みについて見出し、さらなる高みに到達するために、様々な角度から意見や助言をいただいています。それらを可能な限り反映できるように、職員会議等で話し合い、学校運営に役立てています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

今年度より発足した本校のコミュニティスクール運営協議会は、年間4回の会議が持たれました（運営委員には体育祭の見学にも来ていただきましたが、CS運営協議会としては開きませんでした）。運営委員からは、小規模校ならではの特性を活かしながらどのように学校・家庭・地域が連携していけばよいかを、地域住民あるいは保護者としての立場でご意見をいただきました。

また、今年度も昨年度に続きコロナ禍のため一部の行事が中止や縮小されることがありましたが概ね実施することができ、保護者や地域住民に学校や生徒たちの様子を知っていただく場を提供することができました。

★年間4回の運営協議会と主な活動内容★

○第1回運営協議会＜5月26日（水）＞

- ・委員の委嘱、委員長選出
- ・委員長選出
- ・本年度の活動方針について
- ・令和3年度・学校づくりビジョンについて
- ・学校でのコロナ対策について
- ・年間行事予定について
- ・授業見学



○第2回運営協議会＜11月12日（金）＞

- ・文化祭見学
- ・9月のオンライン授業について
- ・学校および生徒の様子について
- ・タブレットの使用について
- ・全国学力・学習状況調査について
- ・校則の見直しについて



○第3回運営協議会<2月25日(金)>

- ・学校および生徒の様子について
- ・学校運営、職員の取組について
- ・卒業式の持ち方について
- ・学校評価アンケートの分析結果について



○第4回運営協議会<3月7日(月)>

- ・卒業式参列
- ・学校評価アンケートの分析結果について
- ・今年度のCS運営協議会を振り返って
- ・令和4年度の学校行事計画について
- ・令和4年度の学校づくりビジョンについて
- ・令和4年度のCS運営協議会委員の委嘱案について



(1) 教育活動の実践事例

【2年生：職場体験学習】

塩浜地区をはじめ、市内にある事業所に体験を受け入れていただきました。自分たちが住んでいる塩浜地区を含めた四日市市を誇りに思い、今後も地元を愛し、地元のために貢献できる子どもたちが育つように、学校と地域が協力していきたいです。受け入れていただいた事業所からは、「地元の未来を担う子どもたちが、ぜひ地元で働いてくれるように協力したい」と好意的な意見をいただいています。



【文化祭での獅子舞披露】

・校区内の川合町のみなさんに獅子舞を披露していただきました。小学生まで獅子舞の活動に参加していた5名の生徒たちも参加し、全校生徒の前で堂々と演じていました。実際に一度も獅子舞を見たことがない生徒もいて、興味深そうに見入っていました。地域の伝統芸能に生徒たちが触れることで、自分たちがそれを引き継いで地域の魅力を後の世代に残していこうとする気持ちが育まれていくはずです。地域のみなさんのご協力が大変ありがたいです。



【3年生：避難所設営】

塩浜地区防災協議会のみなさんに、避難所の設営方法について教えていただきました。これまでの段ボールを使うやり方から、新たに簡易テントの設営方法まで、幅広く学ぶことができました。今後予想される大地震の際、避難所となる学校においては生徒たちが大きな役割を果たすと言われていています。今回学んだことはきっと活かされるはずです。今後さらに有益な防災教育を進めることができるように、学校と地域が一体となり取り組んでいきます。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度からコミュニティスクールの指定校になり、手探りの中スタートしましたが、他校の先進的な例を参考にしながら、少しずつコミュニティスクールの在り方や活動方針を意識することができるようになってきた1年目でした。塩浜地区のみなさんは学校への愛着が大変強く、常日頃から子どもたちの安心・安全のために目配り、気配りをしてくださっています。「塩浜地区の子どもたちは、地域住民みんなで見ていく」という思いが伝わってきます。3学期には、地域の方の飼い犬の行方が分からなくなったとき、生徒数名でその犬を探すということがありました。その方はわざわざ学校にお礼の電話をくださり、大変喜んでみえました。このようなできごと、学校（生徒）と地域のみなさんとの協働と言えるのではないのでしょうか。

運営協議会の場では、委員のみなさんは教職員では気がつかない視点で教育活動に関するよい点や改善点を見出し、建設的な意見を出してください。いただいた意見は職場で共有し、よりよい学校作りに役立てています。

また、学校としては学校だよりやホームページを使って、可能な限り情報発信をするように心がけています。その成果か、保護者や地域のみなさんから、学校の様子がよく分かるという声をよくいただきます。

3 今後に向けて

来年度は今年度の反省を活かしながら、運営協議会を中心にさらに話し合いを重ね、より充実したコミュニティスクールになるようにしていきたいです。まだまだ多くの部分で、学校が保護者や地域のみなさんから協力していただいているのが現状です。学校が地域に貢献できることは何かを吟味し、「地域とともにある学校」になっているかを折に触れて検証するようにします。